

Rotary International 2019-20 会長 マーク・ダニエル・マローニー	国際ロータリー第2670地区 ガバナー 大島 浩輔
テーマ ROTARY CONNECT THE WORLD 『ロータリーは世界をつなぐ』	<b>丸亀東ロータリークラブ</b> <第45年度> 会長 伊賀 重夫 幹事 片岡 浩昌

2020年2月25日(火)

2019~2020年度 第45年度 第30回 通算第2164回例会

【会長報告】

- ◆ 2月11日(祝火)「第38回ロータリークラブ杯争奪ミニバス大会」開会式に参加してまいりました。お礼状が届いております。

【幹事報告】

- ◆ 前回例会終了後、2月理事会を行いました。
  - ① 2月・3月・4月プログラムの件・・・承認
  - ② 第38回ロータリークラブ杯争奪ミニバス大会共催の件・・・承認  
共催金3万円、開会式に伊賀会長が参加
  - ③ 例会時に使用する「ノートパソコン、プロジェクター」購入の件・・・承認
  - ④ 地区補助金提案書の件・・・承認  
「剣道大会」プロジェクトで提案書を提出
- ◆ 2月29日(土)午後1時~サンポートホール高松大ホールにて「香川第Ⅰ・第Ⅱ分区合同IM」が開催されますので出席される方はよろしくお願ひします。  
※参加者にはIMに関するお知らせ文をお渡ししております。
- ◆ 岡山後楽園RCとの親睦ゴルフコンペの案内文を配布しております。  
5月24日(日)東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブにて開催されますので多数のご参加をお願いします。

【プログラム】  **PETS** [会長エレクト研修セミナー] **報告** 氏家 正俊 副会長

2月23日(日) かがわ国際会議場/サンポート高松にて開催されました。



2020-2021年度 国際協議会

RI会長 テーマ講演

国際ロータリー会長

**ホルガー・クナーク氏** [ドイツ]

(ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク  
メルンロータリークラブ所属)



ロータリーは機会の扉を開く

**「Rotary Opens Opportunities」**

(ロータリーは機会の扉を開く)

14年前、ロータリーはサンディエゴで初となる国際協議会を開催いたしました。2020年の今、当地で開催される最後の国際協議会となりましたが、新たなリーダーシップの年度と共に地区の重要な仕事をチームの一員となって協力しましょう。私もチームの一員です。

~四つのテスト~

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

私は、ロータリーの成長に対し、数字を揚げて成長を求めるようなことはしません。これまで数字を揚げて成長を求めるたびに失敗に終わってきたからです。皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能な形で、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたいと思います。いかに現会員を維持しクラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ち足かかる課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか。ポリオ根絶の取組によって、世界でロータリーの認識が高まっているこの絶好の機会に、行動を起こさなければなりません。

「太陽が出ている内に屋根を修理しなければならない」です。

多くの意味で、ロータリーは素晴らしい状態にあります。財団も健全です。財団は世界で最高の慈善団体の一つに数えられています。グローバル補助金は増え続け、ロータリーは年々、国際的な活動に注力するようになっていきます。

一方で、ロータリーはまた、興味深い形で進行しています。今ではアジアのロータリアンの数が、北米のその数を上回っています。特に人口の高齢化が進む地域でロータリーが衰退し、高齢化しています。

何もせずにこれまでの功績に満足していることはできません。デジタル革命が私たちにもたらした打撃は予想を遥かに超えています。これまでもこの課題に直面していましたが、十分な対応が取られていませんでした。時間は私たちのためにスローダウンしてくれません。

とは言え、私たちは急速な変化に負けません。この機会を捉えて、ロータリーを成長させ、より強く適応力を高め、中核的な価値観に沿ったロータリーとなるのです。人々をロータリーに惹きつけるのは、友情と人脈作りの機会です。私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこに行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じています。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化を持っています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、また、クラブによって異なります。この多様性こそがロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情で繋がり「4つのテスト」を信じています。

ロータリーは奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄附だけではなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見るすることができます。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行するために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会を与えてくれます。自分自身の栄光のためだけではなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。だからこそ、クラブが強いのです。奉仕の力は強いクラブから生まれます。

将来は考えた時、待ち受ける課題に取り組みために、ロータリーは充分手を尽くしていると言えるでしょうか。ロータリーは変わらなければいけないし、必ず変わります。

#### ～四つのテスト～

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

古き良きロータリーではなくなったと言うロータリアン仲間がいたとしても、変わらなければならないのです。ポール・ハリスが言ったように時に革命的でなければなりません。そして、革命的であるべき時はまさに今なのです。その一つの方法は、新クラブのモデルを作り、ロータリー会員であるこの意味を考え直すことです。新クラブの設計者は、若い人であるべきです。多くの若者にとって一緒に座って食事することは、一番良い例会の方法ではありません。今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。

一方で、ロータリアンとなるのにふさわしくない年齢などないということも覚えておきましょう。年齢にかかわらず、誰でも歓迎いたします。どこ年齢の人も、与えることのできる大切な何かを持っています。若いロータリアンに働きかけながらも、他の年齢の人を忘れてはなりません。また、クラブに、そしてリーダーの役職に、もっと多くの女性が必要なのです。人々のためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで、皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

ロータリーはクラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶の様に大規模で歴史的プロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや一本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を元に、世界中に友人たちと共に、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いてくれます。したがって私たちの新年度のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。



2020-2021年度 国際ロータリー第2670地区  
ガバナー方針

ガバナー **篠原 徹** (高松東ロータリークラブ)

「行動するロータリーを目指そう」

(Let's Take Action & Change Together)

－基本理念から新しい流れへ－

2020年度のRI会長ホルガー・クナーク氏のRIテーマは「Rotary Opens Opportunities」となりました。日本語では「ロータリーは機会の扉を開く」となっております。Opportunityという言葉のニュアンスは、行動したり、目的、希望を達するのに都合の良い機会、状況という意味で、偶然の機会は含まれないようです。クナーク氏の説く真意は、ロータリーはロータリーと接してくるあらゆる人々に対してあらゆる機会を提供する準備があるし、また、その機会を利用して頂きたいということのようです。ロータリーの提供する機会の扉を開いて入ったその先の部屋には、さらなる世界、展開が待っているとの考え方で、今以上のロータリーや人々の飛躍を願っていると思われます。

#### ～四つのテスト～

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

会員の皆様もご承知の様に、ここ数年前よりR Iは規定審議会で次々と定款、細則の変更を打ち出してきています。革新性、柔軟性を重視して、会員増強、寄付促進、奉仕プロジェクトの充実、公共イメージ向上等を強調するようになってきています。一方で、親睦を基盤としたクラブ奉仕や自己研鑽、更に職業奉仕を主体としたロータリーの伝統的な考え方がやや薄れつつあり、古参の会員の皆様にはやや戸惑われているような感があります。しかし、昨今の情報化等を主体とした世界の激しい社会構造の変化の中で、私はR Iや世界のロータリアンの考え方の変化、方向性は今後共、もう元に戻ることはなく、将来今より更なる革新的な変化が起こる可能性があると考えております。

一方で、ロータリー活動の原点である各クラブ、ロータリアンの自主性、独自性は最大限尊重されるべきであり、日本のロータリークラブの伝統的な考え方、地区運営のやり方等、伝統と継続性も非常に大事だと考えております。

私は、本年度の地区方針を表題の様にいたしました。これは従来のロータリーの基本理念、哲学を無視して、R Iの変化だけを重視すべきだと思っているわけではありません。むしろこれからは、四つのテスト、四つのロータリーの目的、五つの中核的価値観等に代表される理念、哲学は、精神のバックボーンとしてしっかり堅持しないとロータリーの存在意義がなくなり、この点では、世界のロータリーは一致していると思っております。

従って、今年度はR I、世界のロータリーの新しい流れを否定的に捉えるのではなく、適応しつつ、従来の伝統的運営のやり方をふまえながら変化していきたいと思っております。ロータリーは人道的、教育的な奉仕団体であり、また、善意の人々の自主的な集まりの団体ですので、形式上の考え方の相違はありましても、根本的なところでは世界中変わらないと考えております。今年度は世界とあわせながら前向きに行動して、少しずつ変化していきましょうということを訴えたいと存じます。

### **地区の全般的目標**

国際ロータリー（R I）とロータリー財団（T R F）は昨年、新たなビジョン声明を出し、今後5年間にわたる4つの優先項目、行動計画を提唱しています。その4つとは、

- ① より大きなインパクトをもたらす
  - ② 私たちの基盤を拡げる
  - ③ 参加者の積極的な関わりを促す
  - ④ 適応力を高める
- という4つの項目です。

それらをベースに、以下の事項を強調したいと考えております。

#### **（1）各クラブの更なる基盤強化と充実**

- \* 会員増強と会員の多様化を推進する。
- \* 次世代のリーダーを育成する。
- \* クラブを刷新し、柔軟性で変えていく。
- \* C L P（クラブリーダーシッププラン）で、クラブの長期目標を立てる。

#### **（2）会員増強における入会勧誘の多様化を図る。**

会員増強は引き続き第一の目標事項と考えられるが、強調したいのは、若い世代の方、女性の方、定年後の入会希望の方、衛星クラブの方、ローターアクター関係者の方等多様な人々の入会を進める必要があると思っております。入会条件はあまり強く強制せず、奉仕する意欲のある方、また、職業上及び地域社会で善良な方等を基準に勧誘すればよいのではと考えております。

### **～四つのテスト～**

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

- (3) 人道的、教育的奉仕への更なる行動と実施
  - \* ポリオ撲滅運動への継続支援。
  - \* 青少年活動、交換事業への継続支援。
  - \* ロータリー財団を利用した奉仕活動の継続支援。
  - \* ロータリー平和センター、フェローへの継続支援。
  - \* 米山奨学生への継続支援。
- (4) 公共イメージと認知度の更なる向上
  - \* 寄付だけではなく、行動を主体とした奉仕を推進する。
  - \* 他組織とのネットワーク作りや、クラブ独自の活動に対する広報活動を推進する。
  - \* 社会に対し、ロータリーのブランド力とイメージを再認識してもらう。

## 個別目標

- (1) ポリオ撲滅運動
 

1985年開始以来、ロータリーの世界的支援事業の代表的な一つになりました。ほぼ撲滅されつつありますが、まだ2ヶ国で患者数が約200名前後いるとのことです。本年度は撲滅は根絶という名称に変更されました。ポリオプラス基金への寄付を続けたいと思います。
- (2) ロータリー財団 (TRF)
 

日本は年次基金への寄付等、財団への寄付が多い国で感謝されています。また、年次寄付ゼロのクラブは日本全国でなく、これも大変評価されています。本年度も全クラブ寄付ということにご協力をお願いします。また、地区補助金 (DDFGF) を更に有効に各プロジェクトに活用して一層奉仕活動を進めましょう。
- (3) 米山奨学生支援事業
 

当地区は毎年20名前後の奨学生を支援していますが、選考生は全員誠実な学生ばかりで、有意義な国際親善、交流事業と考えられます。本年度も基金への寄付をよろしく願いいたします。
- (4) 国際奉仕活動
 

当地区は、15歳～19歳の学生に青少年交換事業を熱心に行ってきましたが、本年度もよろしく願いいたします。

  - \* 短期交換：アメリカ、ニュージャージー第7470地区との長年にわたる事業です。約20日間前後で高校生がお互いの国を相互訪問して理解を深めています。
  - \* 長期交換：約1年間にわたるアメリカ、オーストラリアよりの高校生を主体に日本の高校生との相互交換をする事業。1年間の交換学生生活で、どの学生もよい体験をして帰国しております。
- (5) 青少年奉仕活動
 

当地区は、青少年活動に対する支援も熱心に行ってきましたが、本年度もよろしく願いいたします。

  - \* インターアクトクラブ (IAC)
 

12歳より18歳までの学生が主体で、学校内での活動や社会活動をロータリークラブの助言で実施しています。
  - \* ローターアクトクラブ (RAC)
 

18歳より30歳までの成人参加のクラブですが、30歳の上限が取り外され若年層の社会人という広い解釈となりました。また、RIの加盟クラブの一員となりましたが、現在その地位等については、検討中であります。

### ～四つのテスト～

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

\* ライラセミナー (R Y L A)

第2680地区 (兵庫) との合同事業で、長い伝統があり、全国的にみても大きな規模で行われている活動です。20歳以上の成人を対象に、毎年春に小豆島、余島で野外活動等を行っていますが、次年度より場所が変更になる可能性があります。

(6) ロータリー平和センター、フェロー

国際紛争の調停、平和維持活動等に参加、従事することを希望する学生を対象にした支援事業です。世界では7校、日本ではICU1校だけが指定されていますが、本年度も約100人のフェローが誕生しています。1人のフェローを育てるためには、数百万円の援助がロータリーより支出されています。

本年度も寄付をよろしくお願いいたします。

(7) ロータリー情報のペーパーレス化、簡素化

情報の交換はウェブサイト、メール等のオンライツールが主体となっており、ロータリーの各ウェブサイトや「My Rotary」を十分活用して情報を得る必要があります。新入会時に会員に登録してもらうことも必要かと考えられます。簡素化の一例として、ロータリーの事務手続きの指針であった「手続要覧」は、数年前まで約300ページ程あった記事が今年度は約70ページまでに削減されています。今後は「ロータリー章典」のウェブサイト等を通じて得る必要があります。

(8) 青少年保護、危機管理の重要性

青少年奉仕、国際奉仕活動時におけるハラスメント、事故対応等に対する危機管理を最近RIは大変重要視してきております。RIJYEM (国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)、地区危機管理委員会、RYE-PCP (青少年交換プログラム継続プラン、大規模災害時のプラン) 等により、普段から危機意識を持ち、活動を継続する必要があります。

以上ですが、本年度も従来のロータリー活動は継続、維持しつつも少しでも変えられることがありましたら、前へ向かって行動しましょうと訴えたいと存じます。

会員の皆様の四国ワンチームの精神でのご協力をお願いいたします。



2020-2021年度 丸亀東ロータリークラブ  
<第46年度>

会長 **氏家 正俊**

[主な予定]

☆白井ガバナー補佐訪問・クラブ協議会

10月27日(火)

☆篠原ガバナー公式訪問

11月10日(火)

☆地区大会 (高松)

2021年5月15日(土)・16日(日)

☆RI国際大会 in 台北 (台湾)

2021年6月12日(土) ~ 16日(水)

~四つのテスト~

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

## 【本日のニコニコ】

- ♣ P E T S (会長エレクト研修セミナー) 報告を無事終えて : 氏家 正俊 次期会長
- ♣ 氏家副会長。P E T S報告。ありがとうございました。 : 伊賀 重夫 会長
- ♣ 氏家副会長。P E T S報告。ありがとうございました。 : 片岡 浩昌 幹事
- ♣ 氏家副会長。P E T S報告。ありがとうございました。 : 小宮山 滋 S A A
- ♣ 写真同好会「第20回写真展」を開催中です。  
是非、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。 : 浜口 戴 写真同好会会長
- ♣ お先に失礼して : 原 将嘉 さん

【来訪ロータリアン】 (なし)

【メイクアップ】 (なし)

## 【出席報告】

第2164回例会

< 2月25日(火)現在 >

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
40名	3名	37名	32名	5名	86.49%

第2162回例会

< 2月4日(火)例会分 >

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
40名	3名	37名	32名	5名	86.49%

★3月3日(火)・3月10日(火)例会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、  
「**休会**」となりました。(定款第8条、第1節により)

★3月15日(日)2020-2021年度 地区研修・協議会は新型コロナウイルス感染  
拡大防止の為、「通常開催**中止**」となりました。

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

例会場

オークラホテル丸亀 ☎23-2222

〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50

事務所 オークラホテル丸亀430号室

TEL ; 0877-21-6611 FAX ; 0877-21-6655

例会日 毎週火曜日 PM12:30~PM1:30

URL ; <http://www.marugame-east-rc.com>

E-Mail ; [merc@soleil.ocn.ne.jp](mailto:merc@soleil.ocn.ne.jp)

## 【My Rotaryに登録しよう】

「My Rotary」とは、ご登録いただくことでロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。さらに、地区や国の境を飛び越し、世界中のロータリアンと交流を深めることも可能です。

登録は意外と簡単。

<https://my.rotary.org/ja>

にアクセスし、トップページで「アカウント登録」をクリックします。

表示された画面で姓名とメールアドレスを入力し、「はい」にチェックを入れて「続ける」をクリックします。ここが登録のキーポイントです。

「名」「姓」「メールアドレス」は事前に所属クラブ事務局が国際ロータリーに登録した情報（データベース）と完全一致しないと、会員ではなく非会員として登録されてしまいます。登録する前にクラブ事務局に自分の登録情報を確認してから作業に入りましょう。

ここまで終わったら国際ロータリーから登録したメールアドレスにメールが届きます。

メールをクリックし「アカウントを有効にする」をクリックします。ここでご希望のパスワードを設定し「セキュリティ保護用の質問」を一覧から選び「答え」（4文字以上）を入力します。

次に「CREATE ACCOUNT」を1回だけクリックします。「はい」と「REMEMBER ME」にチェックを入れて「CONTINUE/SIGNIN」をクリックしたら登録完了です。

設定したパスワードとセキュリティ保護用の質問と答えは書き写ししっかりと保管しておきましょう。

### ※My Rotaryとは

ご登録いただくことでロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。

クラブ会長、幹事、事務局職員の方にとっては「ロータリー・クラブセントラル」

（寄付目標、会員増強目標の設定）、会員情報（入退会更新）、半期報告書、人頭分担金の請求書発行等、地区、クラブ運営にとって不可欠なオンラインシステムとなります。

### ※My Rotaryで、できること

- ・ コミュニティメンバー検索
- ・ マイグループ設立
- ・ ロータリーショーケース
- ・ ロータリー親睦活動グループ
- ・ ロータリアン行動グループ

